

残暑お見舞い申し上げます



理事 光 三浦

平成から令和へと時代は変わりましたが、紫雲会は長い歴史の中、関わっていた多くの皆様方のご努力により、今日の信頼が得られたものと思います。本年は新型コロナウイルスの問題が起こり、高齢者や社会的弱者といわれる方々と向き合う社会福祉法人としては、大変重大な問題であると危惧しているところでもあります。

私たちはこの問題をはじめ、多くの課題に、役職員共々取り組み、より信頼される紫雲会となるよう努力してまいりたいと思っております。



理事 世 渡

今年の夏は猛暑の日が続き、施設入居者や利用者、担当の医師の先生、職員、パート、ボランティア等関係の皆様、それぞれに厳しい日々となりました。

また、新型コロナウイルスの感染は引き続き警戒ですが、関係の皆様の努力と協力により、感染者は出ていません。改めて感謝申し上げます。

これからも、関係の皆様がお互い一層の笑顔で、思いやりの心をもって乗り切り、楽しく穏やかに過ごせるよう念じております。



理事 昭 藤

今年は格別暑い日が続いておりますが、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

暦の上では秋を迎えましたが、酷暑続きで冷房器具も汗を流しています。

さて、紫雲会におきましては、理事長を中心に地域福祉の充実に向けて、努力されていることに敬意を表します。

社会福祉充実計画も進展されている様子であり、熱中症にならないよう体調に十分配慮して、地域福祉の増進に寄与下さるようお願いいたします。

2020年 9月
第26号

発行：社会福祉法人 紫雲会
住所：大分県豊後大野市
三重町本城2050番地
TEL：0974-24-0011
FAX：0974-24-0055

ホームページ
<http://siunkai.com>



理事 子 節 古

未知の新型コロナウイルス感染症と、例年にならない暑さが重なり、町の賑わいも少なく寂しいこの頃です。

日頃より紫雲会に対してご支援ご協力を頂き有難うございます。

今、各施設では広域に拡がりをみせるコロナウイルスの予防策の一つとして、入居されている利用者様の楽しみでもある、面会やボランティアとの交流を控えるなど、懸命に感染防止に努めていると聞いています。ご苦労様です。ボランティアの一人として、感染予防に心がけ、一日でも早く、安心した暮らしができるよう祈っております。

理事会・評議員会を開催
事業報告、充実計画等を承認

令和2年6月9日に理事会を、6月24日に評議員会を開催し、令和元年度の事業報告並びに決算報告が承認されました。

理事会では各報告に先立ち、諸規則の改正が審議され、就業規則や給与規則等の改正が決議され、職員処遇の向上や、働きやすい職場創りが一層進むこととなりました。

事業報告、決算報告については、理事会、評議員会ともに、当初の計画に沿った事業が展開されたことが確認され、また、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、各事業所においては、緊張感をもって業務に当たるよう各役員から要請がありました。

また、今年度で四年目に当たる社会福祉充実計画の一部変更が提案され、放課後児童デイサービス開設に向けた施設整備や、紫雲荘の大規模修繕（空調関係）が新たに盛り込まれた計画が承認されました。

第49回慰霊祭を行いました

8月22日、第49回社会福祉法人紫雲会合同慰霊祭が執り行われました。今年は新型コロナウイルスへの感染防止の観点から、例年ご参列頂いている地域の代表などのご来賓の方はお招きせず、ご遺族並びに法人の役職員のみの参加により、席の間隔も通常より広くとった状態で行われました。

式はこの一年に亡くなられた紫雲荘30名、三国寮6名、本城苑1名の物故者の方の紹介に始まり、麻生亮一理事長の追悼の言葉が読み上げられ、続いて西蓮寺ご住職様の読経とともに水祭りの供養が行われました。

ご多忙の中、ご参列いただきましたご遺族並びにご親族の皆様、ほんとうに有難うございました。



新型コロナウイルス感染防止について



特別養護老人ホーム紫雲荘 施設長 安達 直

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るう中、大分県でも百名を超す感染者がでています。ご利用者、ご家族の皆様には大変ご迷惑やご心配をおかけしたしております。

紫雲会の各施設といたしましては、今できることとして、ご家族による面会を原則お断りしており、業者の方には、玄関での受け取りとさせていただいております。

また職員につきましては、毎日の健康観察、手洗い、消毒、マスクの使用、三密を避けるなど、感染予防



策を徹底しているところであります。

更に、事業所といたしましては、感染者・濃厚接触者の発生を想定した事前シミュレーションや、防護服、フェイスシールドなどの感染防護用品の備蓄、法人内における職員の応援体制の整備など、感染リスクに対する検討を進めております。

引き続き感染防止に努め、ご利用者様の暮らしを支えてまいりますので、ご理解のほど、よろしく申し上げます。



三 国 寮

今年の夏

お楽しみ会



恒例の外出行事の代わりに寮内でお楽しみ会を開催しました。ストラックアウトと輪投げをして、得点に応じて景品のお菓子を配りました。

二つのゲームをした後は、全員で空クジ無しのクジ引き大会をしました。景品はお菓子、日常生活用品等です。番号を読み上げるたびに、多くの拍手と満面の笑みが見られました。



ビアホール

8月20日、恒例のビアホールを行いました。
「焼き立ての焼き鳥や、焼きそばが美味しかった」「御馳走がいつぱい。これで夏を乗り切ります」と話が聞かれました。



おやつ作り



余暇活動、教室活動が中止の間、おやつ作りを月に一度しています。8月はかき氷でした。好みの蜜に、好きな物をトッピングしました。作るのは楽しい。食べるのは、もっと楽しい。



本 城 苑

豊かな暮らしを

生活介護班の活動状況

リハビリ班

中庭にテントとミストシャワーを設置し、レジャーシートの上で腸の動きをよくするため、寝ころび腹部マッサージ、平行棒、立位訓練等、個々に合わせ、日々支援を行います。

園芸班

3年目を迎えた畑で、かぼちゃ、すいか、なす、パプリカ、きゅうり、大葉を植えました。野菜の成長が楽しみで「あーなっちゃん！」という声を聞くと嬉しくなります。

創作班

「森のcaféゆるり」へランチに行きました。ヘアゴム作りなど、日々の活動の労いとして、今後も外食を計画しています。また、市の依頼を受け、マスク100枚の製作のお手伝いをさせていただきました。今後も、社会参加を目標に本城苑を知ってほしいと願っています。



施設長より ～本城苑の目指す支援～

本城苑は、子供から大人まで切れ目のないサービス提供の拠点づくりを目指します。年末に向けて「放課後等子どもデイサービス」事業を設置予定です。更なるご理解をお願いいたします。

キラリ★interview

デイサービス利用者

鎌倉キヨコさん、大正15年1月13日生まれ、94歳。出身は千歳町新殿です。17歳で結婚し、三重町で農業をしながら2人の子供を育てました。現在は長男ご夫婦と3人暮らし。自宅で転倒し腰椎圧迫骨折。歩行訓練や下肢筋力維持向上のためにデイサービスを活用しています。

楽しい事（デイサービスで）

体操や脳トレをしますが、私は問題を解いたり、考えたりすることが好きなので、脳トレをする時が一番楽しくてたまりません。週2日、来れない日はとても寂しいです。

最近、嬉しかった事

コロナで、福岡に住む娘に会えないけど、デイサービスに着てくる服を送ってきてくれて、うれしかった。



「目標」は何ですか？

生きている間、デイサービスに来ることです。

麻生須奈光デイサービス所長

ます。

どんなデイサービスにしたいですか？

地域の人たちが、元気で、暮らし

令和2年4月より、着任した麻生所長に、話を聞きました。

着任して約5か月がたちましたがいかがですか？

自分は、話下手なのですが、利用者様の話を聴くのは好きで、聴いていて楽しくなります。また利用者様とふれあうことで、自分がエネルギーをもらっており、感謝しています。

ていけるように、生活の一助となれたらいいと思います。今は、新型コロナウイルスの感染拡大が心配ですが、ここきて「ホッ」としていただければ幸いです。デイに来て脳や体を動かし、またそれを継続すること、活力ある暮らしを応援していきたいと思っています。



作業所 Be ハウス利用者



作業所 Be ハウスを利用する H・K さんは49歳。町内のグループホームから週5回通っています。慣れない農作業に初めは戸惑いましたが、今では仕事の手順もつかめ、落ち着いた仕事ぶりです。

どういった仕事をしていますか？

トマトやナスといった夏野菜を作っています。水やり、収穫、出荷の準備です。それから切り干し大根も作っています。

休日はどう過ごしていますか？

今は新型コロナウイルスの関係であまり外には出られません。グループホームの人と一緒にコンビニやスーパーで買い物するくらいで、あとはテレビを見て過ごしています。

作業所の感想は？

今年の3月から利用を始めてもつ

足立貞二 Be ハウス所長

すぐ半年です。だいぶ慣れました。職員さんが休憩や水分補給など気にかけてくれるのでありがたいです。

Be ハウスではどのような作業に取り組んでいますか？

現在22歳から70歳まで、男女合わせて18人の利用者さんが通っており、主な作業としては農作業が中心です。他には公園や市道の草刈り、葬祭場の清掃、それに内職などを行っています。

将来取り組んでみたい作業などありますか？

野菜の大規模なハウス栽培や施設外の就労を促進して、現在の平均1万2千円の工賃を押し上げたいと思っています。

支援者として難しいと感じる点や、逆に達成感を感じるようなことはありますか？

一番気を使うのは、健康面、安全の確保という点です。達成感という点では、作業所の利用を通じて利用者さんが、自分の将来像を描いてくれる時、そして、作業を通じて、社会に役立っているという自覚を持つてくれることです。

地域で暮らす：グループホームコスモス

少人数の共同生活で、必要な支援やサポートを受けながら自立を目指すグループホーム。本城苑が運営する「コスモス」では、男女合せて10人の方が、お互いに協力し合いながら、毎日2人の世話人さんのサポートによってアットホームな暮らしを送っています。家庭的な環境で、自由な時間、プライベートルーム空間という点で利用者さんの好評をいただいています。

今回はご本人の了解をいただいて、4名の方の日常のひとコマをご紹介します。



昼間はカボス農園で働くKさん。言葉の端々に仕事に対するプライドが感じられます。できることは積極的に行うタイプで、食器洗いも日課です。



昼間は作業所で働くOさんは31歳。ここの暮らしで一番楽しいのは世話人さんや仲間とおしゃべりだそうです。夏の農作業は大変だけど、休日の買い物でリフレッシュしています。

竹田市の警備会社に勤務するKさんは皆より帰宅が遅く、今日も一人での夕食です。

真夏の外仕事はきつかったけど、世話人さんとお話しながら、気持ちがほっとするひと時です。



毎朝6時半に、世話人さんが作ってくれた弁当を手にし事へと出かけます。お疲れ様でした。



「ただいまー。」取材中に仕事を終えて帰宅したOさん。彼女はコスモスで一番若い24歳。

犬飼町の職場まで毎日JRと送迎バスを乗り継いで通っています。グループホームでの生活は2年目です。休日はトイレやお風呂の掃除をしてくれるそうです。



第三者福祉サービス相談員を4名の方に委嘱



小林 眞 様



玉田 照光 様



三浦 公明 様



中嶋 和加子 様

福祉サービス相談委員会は、施設職員とは違う中立の立場で、利用者やご家族の相談に対応する機関として設置されています。毎月第4木曜日の午後、各施設を訪問し、利用者から個別に聴き取りを行います。苦情や相談があった場合は、利用者・事業者双方から意見を聴取し、必要に応じて、事業者に改善を提言・勧告するなどして、その解決に導きます。

職員 仕事内容

4名のケアマネジャーが在籍しています。

介護保険の手続きや在宅介護の相談、退院後のご相談、施設入所までの相談等です。



大事にしていること

地域に密着し、利用者様や、家族の意向を尊重して、どのようにすれば在宅生活を支えられるか、一緒に考えています。何よりも、安心して介護や生活を送っていただきたいと思っています。家族が遠方でご心配な方は、まず電話でご相談ください。

こんにちは。介護保険の居宅介護支援事業所です。

介護保険サービスセンター紫雲



☎0974-22-8881
時間 8時～18時30分

紫雲荘供養盆踊り



8月13日に紫雲荘ではささやかながら、レクリエーションの環境で職員と一緒に盆踊りをしました。例年は、地域の方々と交え、供養盆踊りを開催しておりますが、今年はコロナウィルスの感染予防のため、恒例行事を中止せざるを得ませんでした。地域から盆踊りのお囃子が聞こえない今年の夏は、寂しさやむなしさを感じてしまいます。少しでも利用者が季節を感じていただければ幸いです。



法人研修（衛生講話）を分散開催

紫雲荘



豊肥保健所より食品衛生講習会の資料をご提供いただき、各施設の栄養士が講師となり衛生講話を開催しました。

コロナウィルスの感染予防も必要ですが、ノロウィルスやサルモネラ菌の予防も重要です。食中毒を防ぐためには、次の3点が有効です。

- 1 手洗いを徹底
- 2 菌を増やさない
- 3 しっかりとした加熱殺菌

職員は日々の体調を管理し、菌を持ち込まないよう心がけます。



三国寮



本城苑

ホームヘルプセンター紫雲

訪問介護を利用しながら在宅で、その人らしく生活している方を紹介します。



後藤さんは、昭和8年5月1日生まれの87歳。出身は緒方町。結婚後は三重町に住み、2人の娘さんを育てました。娘さん2人は東京にいらつしやるとのこと。旦那さんは脳梗塞で倒れ、後藤さんが在宅で介護をしたそうです。旦那さんが亡くなった後、脊柱管狭窄症を患い、現在は屋内でも歩行器を利用しなければ移動できません。平成8年からヘルパーを利用し、自宅で独居生活を送られています。一時は、東京の娘さんの所へ行かれましたが、長年暮らしたこの地域が「自分らしく生きられる場所」と思い、帰ってこられたそうです。近所のお友達も集まって楽しく生活していたようですが、最近ではその友達も段々寄り集まれなくなり、今は、ヘルパーさんが来てくれるのをとても楽しみに待っています。

「楽しいな事」は何ですか？

- ・ヘルパーさんと話ができること
- ・本や新聞を読むこと

今後の目標は何ですか？

一日一日を楽しく、自分でできることをして、できる限り自宅で過ごしたい。できればヘルパーさんと一緒に買い物に行きたい。

ヘルパーが思う事

色々な環境や病気をもち利用者様。在宅生活も不自由があると思います。

でも私達のモットーは、本人が望めば本人らしく住み慣れた家で、生き生きと元気に暮らせるようにしてあげたいという事です。瞬時の判断も要求されますが、その人が住みたいと思う限り支援したいです。自分たちの勉強にもなっています。



サポートセンターサライ

地域での暮らしを支える

就業・生活支援センターつばさ

竹田市での
自立支援協議会

電話対応する相談支援専門員

また、「自立支援協議会」における地域のネットワークづくりも重要であり、そこでは地域の課題を共有し、サービスの基盤の充実や、虐待防止、更には障がい者の地域移行に向けて、関係機関の専門職と協働した、幅広い協議が行われている。

豊後大野市と竹田市の委託により、障がい者（児）の相談支援業務を行う「サポートセンターサライ」。社会福祉士や保健師、相談支援専門員などの専門職が総勢5名で業務を行っている。支援の対象は子供から大人まですべての世代を対象としており、その相談内容は年々複雑且つ多様化しており、経済問題や閉じこもり、異性間のトラブルなど、家族ぐるみの支援が求められる困難な事例が増加の傾向にあるという。

「通勤手段の確保や、生活リズムの安定など、解決すべき課題は多いが、一人でも多くの方が働くことを通じて、社会とのつながりを取り戻してほしい。」スタッフ全員の願いである。

国、県の委託を受けて障害者の就業支援を行う「豊後地区就業・生活支援センターつばさ」。今年度から配置された雇用アドバイザーを含む4名のスタッフが、企業と本人の間を調整し、障がい者の就職活動を後押しする。



企業との調整に当たる就業支援員



豊後大野市の高齢者福祉課と包括支援センターの方がお見えになり、各施設で、「認知症サポーター養成研修」が開催されました。

認知症状のある方の支援方法やその家族の見守り、支援するサポーターの育成に取り組む豊後大野市の現状や方針を伺いました。その後グループワークで私たちに何ができるか話し合いました。いつもは施設で支援する職員にとつて、在宅支援の現状を知り、地域住民として何ができるか？と、考える良い機会になりました。



認知症サポーター養成研修を実施

SOSネットワーク事業とは

高齢者の行方不明者が発生した際に、地域の協力機関で構成しているSOSネットワークに、行方不明者の情報を提供し、早期発見につなげるという目的があります。道に迷うリスクのある認知症の人の情報を事前に登録することで、行方不明になった際の情報提供を迅速に行えるようになっています。

地域住民として認知症に対する理解と知識を持ち、認知症のある人や家族を支援する行動がとれるよう、また認知症があっても安心して生活できる街づくりに協力するため、今回紫雲会では、職員が研修を受け、地域の協力機関としてSOSネットワークに登録しました。



地域における貢献活動

紫雲会では様々な地域における公益的な活動を行っています。
今回ご紹介するのは、障害者支援施設本城苑が取り組んでいる活動です。
本城苑では長年にわたり、地域の環境美化に取り組んでおり、「地域と共に生きる」という法人の理念を、日常に実践しています。
利用者と職員の協力による貢献活動です。



市道の草刈り

8月26日、市道の草刈りを行いました。地域の高齢化が進む中、地元住民の方だけでは、生活環境の維持が困難になりつつあります。
地域とともに生きる私たちの、大切な取り組みです。



ゴミ拾い

毎月一回、利用者、職員協働で施設周辺や道路のゴミを拾う活動を続けています。
8月は暑かったけど、暑さ対策とコロナ対策をしっかりとやって取り組みました。やっぱり、キレイは気持ちいい！

令和元年度 社会福祉法人紫雲会 決算報告

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	1,835,747	流動負債	126,982
固定資産(基本財産)	1,745,987	固定負債	220,775
その他の固定資産	1,101,663	負債の部 合計	347,757
		純資産の部	
		基本金	135,422
		国庫補助金等特別積立金	584,795
		その他の積立金	674,000
		次期繰越活動増減差額	2,941,423
		純資産の部 合計	4,335,640
資産の部の合計	4,683,398	負債及び純資産合計	4,683,398

資金収支計算書

(単位：千円)

科 目	社会福祉事業・公益事業
事業活動による収支	
事業活動収入	1,417,324
事業活動支出	1,327,785
経常活動資金収支差額	89,539
施設整備等による収支	
施設整備等収入	5,376
施設整備等支出	55,671
施設整備等収支差額	△50,295
その他の活動による収支	
その他の活動による収入	7,711
その他の活動による支出	11,284
その他活動資金収支差額	△3,572
当期資金収支差額	35,671
前期末支払資金残高	1,751,732
当期末支払資金残高	1,787,403

事業活動計算書

(単位：千円)

科 目	社会福祉事業・公益事業
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	1,411,019
サービス活動費用計	1,421,569
サービス活動増減差額	△10,549
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	6,305
サービス活動外費用計	1,950
サービス活動外増減差額	4,355
特別増減の部	
特別収益計	4,178
特別費用計	1,805
特別増減差額	2,372
当期活動増減差額	△3,821
前期繰越活動増減差額	2,945,245
次期繰越活動増減差額	2,941,423

事業の概要

◆第一種社会福祉事業

特別養護老人ホーム紫雲荘
盲養護老人ホーム三国寮
障害者支援施設本城苑

◆第二種社会福祉事業

紫雲荘デイサービスセンター
ホームヘルプセンター紫雲
サポートセンターサライ
本城苑作業所Beハウス
グループホームコスモス
紫雲荘ショートステイサービス

◆公益事業

介護保険サービスセンター紫雲
就業・生活支援センターつばさ

編集後記

今年の夏は各地で体温以上の酷暑となり、専門家によると「地球が悲鳴をあげている」そうだ。

悲鳴と言えは新型コロナウイルスの感染拡大。こちらも旅行や飲食をはじめとする多くの業界が悲鳴をあげている。地球も人間も悲鳴をあげるこの時代に「福祉の力」は何ができるだろうか。

今こそ、マクロとミクロの視点に立った、社会福祉法人の戦略的思考が求められている。

(は)